

庁議報告事項

開催日：平成28年5月2日(月)

1 岡崎市長から

- 平成28年熊本地震では、まだ多くの被災者が避難所に避難している。被災者が自宅に帰るためには、宅地の危険度判定が必要であり、これまで、応急危険度判定士の派遣を行っていたが、新たに熊本県からの要請により、応急宅地危険度判定士についても、派遣を行っている。
- 平成28年熊本地震の教訓として、1回目の揺れが、本震なのか余震なのかの判断ができず、また長期間に渡り余震も続くことや、耐震補強を行った家屋も、2回目の揺れには耐えられないことなどが明らかになっており、人命保護最優先の観点から、避難所から自宅に帰すタイミングの判断が難しくなっている。
- 今秋、室戸沖において、海洋の基盤的研究開発や学術研究を行う国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）による、南海プレートの掘削調査が行われる。掘削調査には、平成20年に高知新港で特別公開が行われた、地球深部調査船「ちきゅう」が用いられると聞いており、調査結果を注視したい。
- ゴールデンウィーク中の不測の事態に対応するために、庁内の緊急連絡体制について、再確認しておくこと。

2 吉岡副市長から

- ゴールデンウィークの前半が終了したが、特段の事故もなく良かった。各種行事に従事した職員は、ご苦労様でした。
- 先週、金曜日に、かるぽーとで開催された「フクちゃん誕生80年記念 みんなの友だち・フクちゃん展」のオープニングイベントに参加してきた。イベントには、横山隆一氏の長男である隆雄氏も参加されており、大変、喜んでおられて良かった。
- 「まちなか」における高齢者や障がい者などの移動を支援するタウンモビリティなどの活動を行っているNPO法人福祉住環境ネットワークこうち（愛称：ふくねこ）のステーション設立1周年記念行事に参加してきた。行事の中で、障がい者や、高知大学の学生による取組事例の発表があり、今後、障がい者施策を進めるうえで、非常に参考となった。
- ゴールデンウィークの後半は、雨天となる日もあるようで、各種行事に従事する職員は、大変だとは思いますが、事故が起こらないよう、細心の注意を払ってもらいたい。また、熊本県に派遣されている職員も大変であると思うが、無事に帰ってくることを願っている。
- ゴールデンウィークの連絡体制を再確認するとともに、何かあれば、すぐに報告すること。

3 各部局から

○ 報告事項

- ・平成28年度 高知市職員採用資格試験日程一覧表について（総務部）
- ・熊本地震に係る高知市の支援状況について（防災対策部・上下水道局）
- ・地域コミュニティ再構築事業における地域支援職員（地域活動応援隊）の募集について（市民協働部）